

山 中 だ よ り

山中 してもらう
キャッチ させられる人から
フレーズ する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第11号

発行 令和2年8月7日 校長 交久瀬 善浩

◆◆1学期終了です◆◆

コロナウィルス感染症の影響で4・5月の2か月間が臨時休校となり、4月は入学式のみしかできず、2・3年生は全くの休み、続く5月も15日から週2回の登校日のみでした。6月に入って分散登校が2週間、6月15日からは通常登校となりましたが、その後、授業時間確保の為に7月21日から8月7日まで夏休みが授業日になるという変化に富んだ1学期でした。

通常の授業と異なり、学習課題はすべて家で一人で取り組む期間やクラス半分ずつで午前と午後交互に受ける授業、さらに3年生は1日7時間授業も経験しました。

振り返ってみて、あなたにとってこの1学期はどんな学期だったでしょうか。

「例年と違って楽しかった」「自分の時間がたくさんできて有意義だった」「貴重な体験ができた」というように感じた人、その人はとてもポジティブな人だと思います。総じて、ポジティブな人は自分で考えて行動する人が多いと思っています。ポジティブな人は、人から指示されてそれをこなすだけであったり、日常的に変化のない日々を過ごすだけだと退屈を感じたり充実感がなくなったりしがちですが、今年度のようなことがあると周りからの指示も少なくなり日常的に色々な変化が発生するので、それに合わせて自分で考えて対応・行動することにより楽しく感じたり充実感を味わったりできるのです。



但し、自分で考えて行動する時間ができたときに、その時間を他人から与えられた物(スマホの利用も含む)を利用して過ごすことによって充実感や楽しさを感じていた人は、ポジティブな人とは言えません。何故なら、他人から与えられた物を利用するのは、他人から指示されてしていることと変わらないからです。与えられた物をするには、そのもののルールに従い利用せざるを得ず、利用者は考えること、特に新しい発想や創造する考えを持つことができなくなるからです。

私がここでいうポジティブな人とは、特に3月から5月にかけて家庭で過ごさざるを得なくなったときに、スマホやテレビ、ネット等で楽しめた人ではなく、そういうものがない中で自分がすることやしたいことを考えて行動した人です。結果の成否や実現の有無はどちらでもいいです。他人や保護者に頼らずに自分で考えて行動した人がポジティブな人であり、主体性の高い人なのです。

これからの時代、特に日本という社会が必要とする人間は、「与えられた仕事や決められた業務を早く確実にこなす人」「指示されたことが確実に早くできる人」ではなく、『自分で考えて、自ら行動できる人』『0から1を創造できる人』『新しい視点を持ち新しい価値を生みだせる人』『自らの意志や考えをしっかり持ち、それを相手に伝えられる人』等々だと私は思っています。そして、そのような人を育てるには、『子どもを困らせることが一番』だと思っています。言い換えれば、中学生のみなさんは自らそういう人に自分がなりたいと思うなら、保護者の方や先生、周囲の人が、「みなさんのために用意してくれるもの」「困らないように手助けしてくれること」「代弁をしてあなた考えや意見を他の人に伝えてくれること」などを、自らことごとく断り、『自ら自分を困りの世界に放り込んでいく』ことが一番だと思っています。

何故なら人は困らないと育たないからです。困らないと、人は考えません。悩みません。自らの考えに基づいた行動をしません。他人から指示される学校の勉強はできて知識はついても、自ら考えないので新しい発想は出ず、創造力も知恵も育ちません。

(裏面に続く)





マイクロソフトの創始者であるビル・ゲイツは、自分の子どもを育てるとき、14歳まで携帯電話をもたせませんでした。そしてアップル（iPhoneを作っている会社）の創始者であるスティーブ・ジョブズは、家庭ではローテク機器を主体とし、自分の子どもがハイテク機器を利用する時間を厳しく制限しました。この話しはとても有名な話しですが、何故この第4次産業革命（現在進行形）の基礎を作っていた二人の世界に名だたるハイテク機器の生みの親が、自分の子どもを育てるときにはその使用を封印したのでしょうか。

少し考えてみてください。私は日本で一般的に言われているようなスマホの使用に関する害のような単純な理由からではないと思っています。みなさんも一度、この二人が何故自分の子どもを育てるときに携帯電話やスマホなどを使わせなかったのか考えてみてください。

どうですか？ビル・ゲイツやスティーブ・ジョブズは、わかっているからこそ親として自分の子どもを困りの世界に放り込み、子ども自身が自ら力を付けました。欧米を含め世界のほとんどの国では、意識するしないの違いこそあれ、この式の子育てがメインとなっています。ところが日本・中国（都市部のみ）・韓国においてはこうはなっていません。だからこそ皆さんは、自らの力で自らを困りの世界に放り込み、ぶつかった壁に自らの力で挑み、考え、行動し、解決を図れる自らの力を育てていってください。

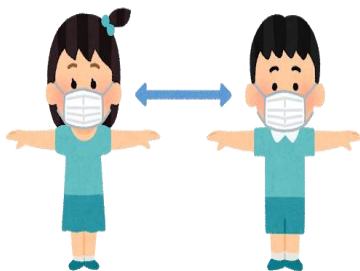
4月5月にそれができなかった人は、僅か10日ほどしかありませんが、夏休みの期間中だけでも挑戦してみてください。簡単なことです。その10日間の過ごし方をハイテク機器を使わず（あるいは最低限の使用にとどめ）、自分で本心から有意義だったと感じられるように一日一日をどう過ごすか自分で考え、行動すればいいのです。何をするかは自由です。但し、他の人から与えられたもの（スマホやゲーム等を含むハイテク機器等）を使わず、大人から指示されたことだけで一日を過ごしてしまうのではなく、という条件を付けるのを忘れないようにしてください。

ちなみに、スティーブ・ジョブズは次のような言葉を残しています。参考に見てみてください。

『17の時に、こんな名言に出会ったよ。「毎日を人生最後の日のように生きれば、間違いなく最高の人生を送れる」ってね。
それ以来33年間、私は毎朝鏡を覗き込んで、こう自問し続けた。「もし今日死ぬなら、今日やろうとしていることを本当にやるか？」
そして、その答えがNoである日が続いたときは、何かを変えなきゃいけないんだってわかったよ。』



◆◆2学期に向けて◆◆



コロナウィルス感染症が再び拡大してきています。夏休み中の行動は十分に注意してください。前号の第10号にも記載しましたが、念押しのためもう一度記載しておきます。

3年生は2学期初めから修学旅行に出発する9月16日にかけて、もし学校で誰かがコロナウィルスに感染することになった場合、修学旅行に行けなくなる可能性が極めて高くなります。さらに大阪府や全国的にさらに感染の状況がひどくなれば、場合によって、大阪府の単位で修学旅行に行くことを禁じる等の措置がとられれば、完全に行けなくなります。ですから、この休み中の行動は本当に注意してください。

1・2年生も同じです。2学期は学校祭（体育祭＋文化祭）と行事がいっぱいです。それらも中止ということにならないよう、十分考えて自身の強い意志をもって行動してください。

2学期の始業式に皆さんが元気に登校してくれるのを期待して待っています。！！